

焉耆國³⁴。是漢軍兵□□領押。有王。百姓是胡。足寺足僧。行小乘法。□□□□□□

□此即安西四鎮名數

一安西 二于闐 三疎勒 四焉耆³⁴ 下缺

上缺 依漢法裏頭著裙下缺

註① 文字半ばを缺きたれども、「衣」字の殘畫なること明らかなり。

② F本「洄」河は誤なり。

③ ?を附したる文字は、余が巴里ビブリオテーク・ナシヨナルの原本に就き、右側の殘畫に據つて判讀したるところなり。

④ F本に「輸」とせるは誤なり。

⑤ 影印本にては「索」の如くに見ゆれど、原本に就きて仔細に觀れば「素」と讀まる。

⑥ 字畫は「龜」にして、第5行六字目の傍の如き「麗」には非ず。思ふに麗の誤寫なるべし。

⑦ F本に下缺と見ゆれど、下缺には非ずして、「此寺中」に續くべきなり。

⑧ F本に「寸」と寫したれど誤なり。「等」の略字「才」なり。F氏は之を時には正しく等と讀みたれど、時には「寸」と讀めり、その故を知らず。

⑨ 原本「難誠」二字の間右側にレ記號を附して文字の倒置を訂せり。「誠難見」と讀むべきなり。

⑩ F本「著」と寫し、その譯文註に參著經は參藏經なりと説きたれど疑ふべし。字畫は「差」にして參差と續くべきなり。

⑪ 慧琳一切經音義中の本書の音義に參差といふ語見ゆるは證左とすべきなり。

⑫ F本「閉」と寫すは誤なり。譯文の註に開とせるが正しきなり。